

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 11	
企画名	「総合診療医のための渡航医学」 Practice course Ver.1：明日から使えるトラベルワクチン
日時	2016年6月11日(土) 15:00～16:30
会場	第13会場 (台東区民会館 9階 ホール(2))
企画責任者	中山久仁子 (医療法人 メファ仁愛会 マイファミリークリニック蒲郡)
定員	48名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>海外に出かける日本人は年間1850万人、海外在留邦人は129万人。5年間で14万人増加し、私たち総合診療医は、かかりつけ患者が海外に行くことを日常的に経験し、患者からアドバイスを求められている。しかし、渡航に伴うリスクマネジメントを患者に提供している医療従事者は少なく、渡航者が渡航先で思わぬトラブルに巻き込まれていることが報告されている。</p> <p>本ワークショップ「総合診療医のための渡航医学」シリーズは、一人でも多くの総合診療医が、かかりつけ患者の渡航に伴うリスクマネジメントを行えるようになることを目的として開催する。</p>	
<p>【概要】</p> <p>昨年は、総合診療医のための渡航医学の基礎編 (Basic course)、渡航リスクとマネジメントを伝えた。今年は、リクエストの高かった項目のうち、渡航前のワクチンスケジュールの立て方に絞り、実践編 (Practice course) Ver.1を企画した。ワクチンスケジュールの立て方の基本の説明、実際の症例を使っているロールプレイ、接種証明書の書き方の実践を通じて、総合診療医に必要な、ワクチンによるリスクマネジメント提供能力を身に着けることを目的とする。</p>	